

**2014年3月期(FY2013)
第2四半期
連結決算報告**



大幸薬品

**2013年11月
大幸薬品株式会社**



- **中国鳥インフルエンザ報道を背景に感染管理事業
売上高が拡大（対前年同期比166%増）**
- **海外医薬品事業が好調（対前年同期比51%増）**
 - ・中国／香港：正露丸・糖衣A共に販売好調
 - ・円安効果

**上記に伴い大幅増収増益
対前年同期比：売上高28%増、営業利益162%増**

連結經營成績

連結経営成績サマリー

▶ 感染管理事業の大幅伸長及び医薬品事業(海外)好調により連結業績拡大

単位: 百万円

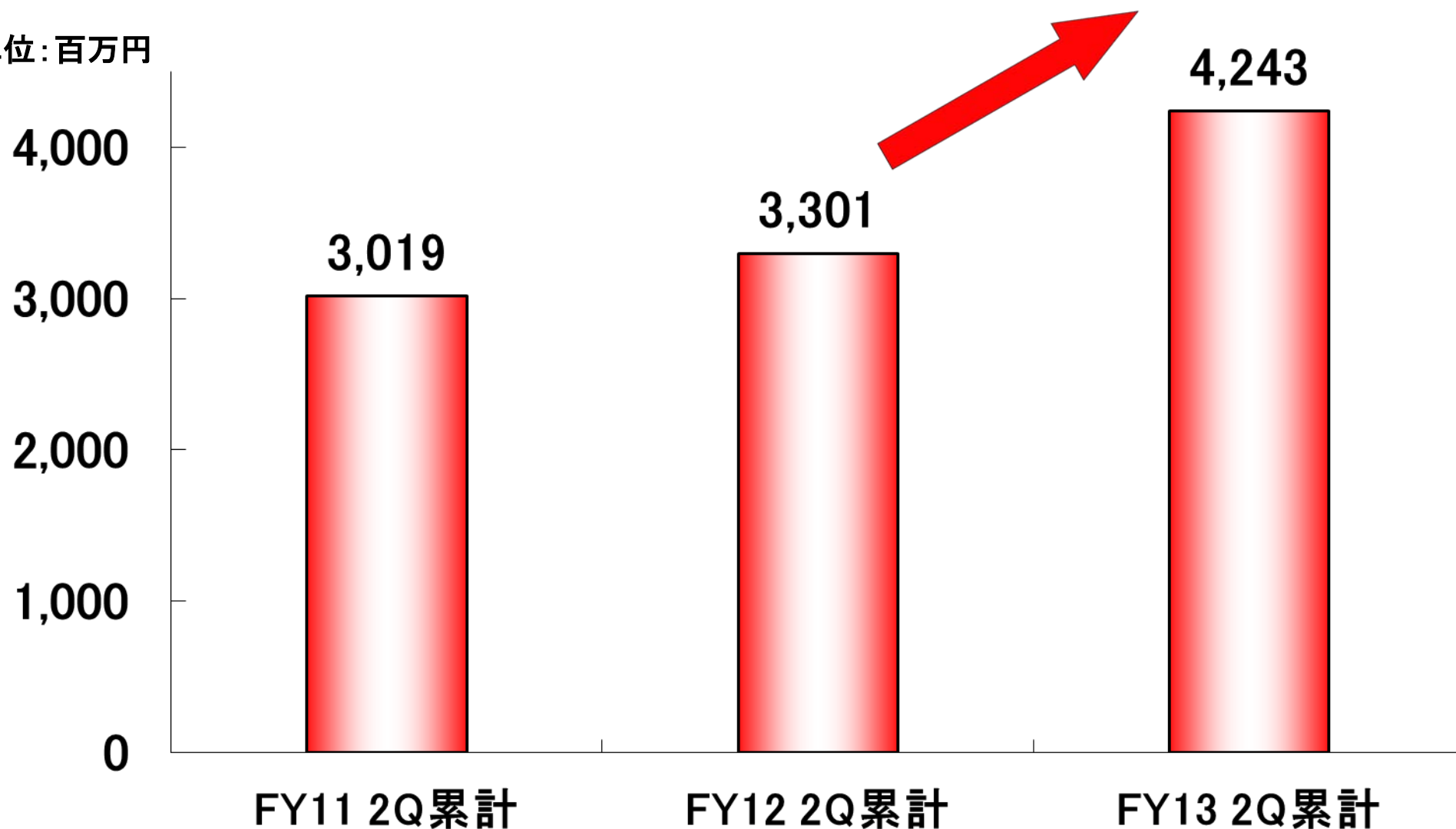
	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	3,301	4,243	941	28.5%	医薬品)海外向け増加 (対前年同期比198百万円増) 感染管理)一般用、業務用ともに増加 (対前年同期比743百万円増)
売上原価(※) (売上高比率)	1,158 (35.1%)	1,206 (28.4%)	47	4.1%	医薬品)増収及び製造原価に占める固定費減少により粗利増加
売上総利益 (売上高比率)	2,142 (64.9%)	3,036 (71.6%)	894 (6.7P)	41.7%	感染管理)利益率の高い一般用製品の売上高伸長により粗利増加
販売費及び 一般管理費	1,593	1,597	3	0.2%	
営業利益 (売上高比率)	548 (16.6%)	1,439 (33.9%)	890	162.3%	
経常利益 (売上高比率)	547 (16.6%)	1,449 (34.1%)	901	164.8%	
四半期純利益 (売上高比率)	459 (13.9%)	1,116 (26.3%)	657	143.2%	

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移

➤ 感染管理事業及び医薬品事業(海外)の伸長により大幅増収

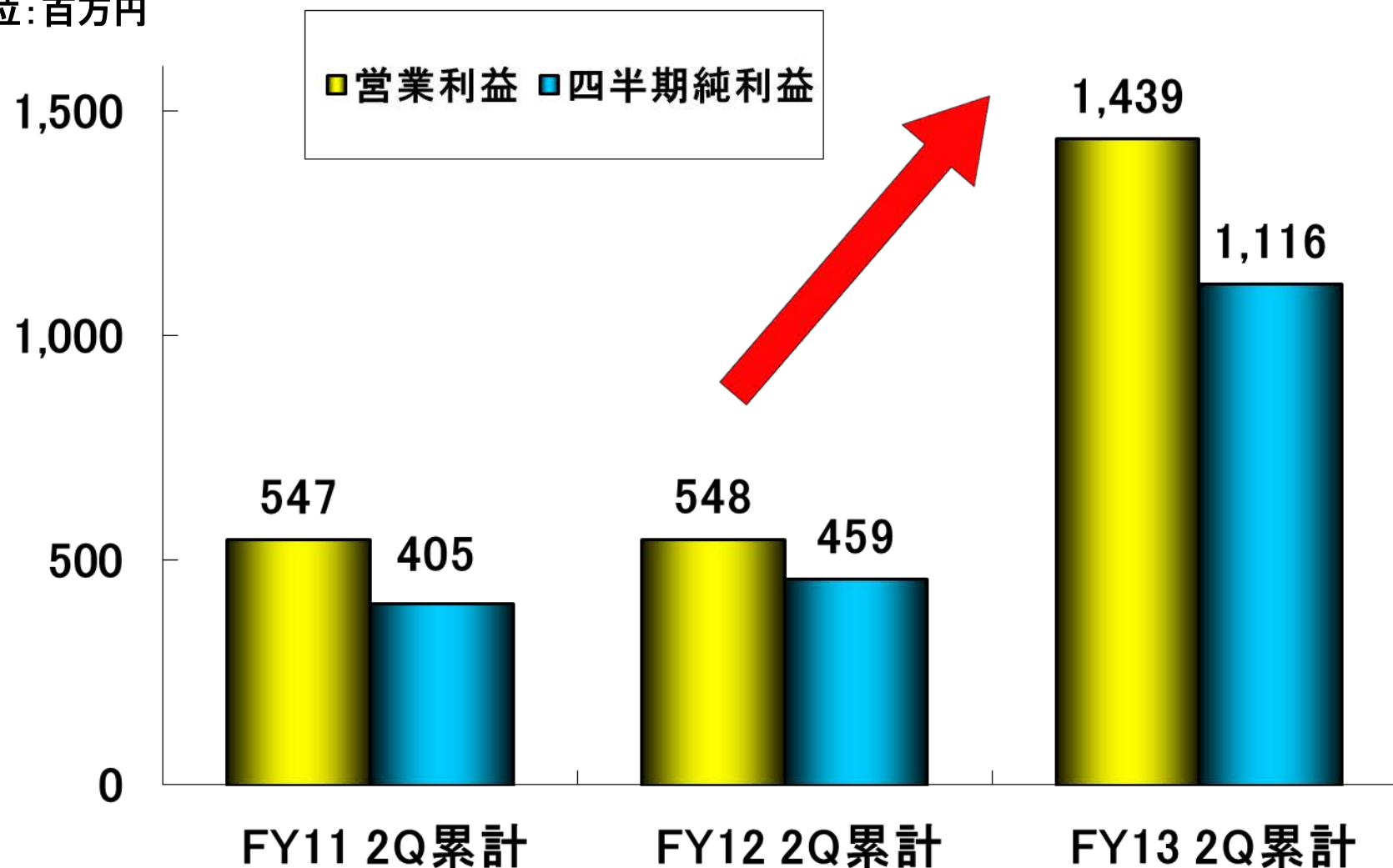
単位:百万円



連結営業利益・四半期純利益推移

➤ 感染管理事業及び医薬品事業(海外)の大幅伸長により営業利益は 162%増

単位:百万円



販売費及び一般管理費

▶ 売上高比率が大きく低下

単位：百万円

	FY12 2Q累計	売上高 比率	FY13 2Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	519	15.7%	562	13.2%	42	8.2%	
広告宣伝費	312	9.5%	330	7.8%	18	5.8%	
販売促進費	150	4.5%	146	3.4%	△3	△2.2%	
運送費	57	1.7%	85	2.0%	27	48.6%	出荷増による運賃増加、在庫増による倉庫保管料増加
人件費	607	18.4%	582	13.7%	△24	△4.1%	退職等による人員減少影響
その他経費	466	14.1%	452	10.7%	△14	△3.1%	
研究開発費	82	2.5%	71	1.7%	△11	△13.4%	
支払手数料	91	2.8%	93	2.2%	1	1.8%	
計	1,593	48.3%	1,597	37.6%	3	0.2%	

連結財政状態

▶ 純利益増加による純資産の増加及び自己資本比率上昇

単位:百万円

	FY12 期末	FY13 2Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	9,474	10,251	777	8.2	
現金及び預金	5,173	5,867	694	13.4	営業CF 970 (EBITDA 1,562) 設備投資等 △143 財務CF △132
売上債権	2,638	2,428	△210	△8.0	
たな卸資産	1,398	1,626	227	16.3	ハイシーズンへの製品確保
固定資産	3,542	3,603	60	1.7	
資産合計	13,016	13,855	838	6.4	
流動負債	2,502	2,245	△256	△10.3	
仕入債務	444	502	58	13.1	
固定負債	1,035	1,054	19	1.8	
純資産	9,478	10,554	1,075	11.3	利益剰余金増加 926百万円等
負債純資産合計	13,016	13,855	838	6.4	

自己資本比率	72.4%	75.8%
--------	-------	-------

連結キャッシュ・フロー状況

▶ EBITDA及びキャッシュ期末残高が対前年同期比大幅増加

単位：百万円

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	主な要因	
営業活動CF	1	970	EBITDA	1,562百万円
			未払金の減少	△319百万円
			引当金等の減少	△133百万円
			法人税等の支払	△90百万円
投資活動CF	△96	△448	定期預金の増加	△246百万円
			医薬品に係る設備投資等	△143百万円
財務活動CF	△464	△132	配当金の支払	△190百万円
			新株予約権行使による収入	67百万円
現金・同等物換算差額	4	45		
キャッシュ増減(※1)	△554	434		
キャッシュ期末残高	3,899	5,568		
EBITDA(※2)	666	1,562	営業利益	1,439百万円
			減価償却費	122百万円

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業 : 中国／香港の販促強化に円安効果も加わり増収増益
- 感染管理事業: 中国鳥インフルエンザ報道を背景とする受注増による増収増益

単位: 百万円

	売上高			営業利益			
	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減率	FY12 2Q累計	利益率	FY13 2Q累計	利益率
医薬品事業	2,843	3,042	7.0%	1,189	41.8%	1,486	48.8%
感染管理事業	446	1,189	166.3%	△42	—	507	42.6%
その他事業	10	11	3.5%	△10	—	△9	—
全社(※)	—	—	—	△587	—	△545	—
連結合計	3,301	4,243	28.5%	548	16.6%	1,439	33.9%

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト等)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

➤ 止瀉薬市場の停滞及び他社のシェア増加により売上高減少



正露丸



セイロガン糖衣A

(※)その他医薬品



ピシャット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減	増減率
正露丸	995	977	△18	△1.9%
セイロガン糖衣A	1,196	1,124	△71	△6.0%
その他(※)	111	121	9	8.8%
計	2,303	2,223	△80	△3.5%

(※)小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』、止瀉薬『ピシャット錠』等

当社の国内止瀉薬市場シェア(店頭小売価格ベース) 出所: (株)インテージ 調査データ

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減
市場シェア(※)	52.3%	50.8%	△1.5P

(※)シェア内訳: 『正露丸』、『セイロガン糖衣A』、『ピシャット』ブランド

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤中国／香港市場にて正露丸及びセイロガン糖衣Aの販売が増加



正露丸



セイロガン糖衣A

地域別売上高

単位:百万円

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減	増減率
香港	219	354	134	61.2%
中国	232	345	112	48.4%
台湾	78	88	10	13.3%
その他(※)	9	30	20	225.5%
計	540	818	278	51.6%

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 中国鳥インフルエンザ報道を背景に販売増加
- 感染症(季節性インフルエンザ等)流行に備える小売店からの受注増加

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリンG スティックタイプ

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減	増減率
液剤	58	172	113	192.4%
ゲル剤	289	877	587	202.7%
クレベリン発生機 (※1)	97	139	42	42.9%
計	446	1,189	743	166.3%

(※1) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

対象顧客別売上高

単位:百万円



DENSO

車両用クレベリン



クレベリン発生機
リスパス NEO

	FY12 2Q累計	構成比	FY13 2Q累計	構成比	増減	増減率
一般用	243	54.4%	867	72.9%	624	257.0%
業務用	203	45.6%	322	27.1%	118	58.1%
計	446	100.0%	1,189	100.0%	743	166.3%

セグメント別事業概況(その他事業)

➤ 木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY12 2Q累計	FY13 2Q累計	増減	増減率
木酢製品等	10	11	0	3.5%

通期業績予想

通期予想に対する進捗

▶ 通期予想に対して好調に推移

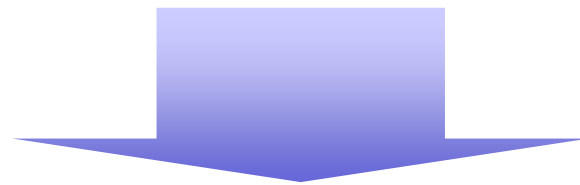
単位：百万円

	FY13 通期予想 (5/13発表)	FY13 2Q累計	進捗率
売上高	7,500	4,243	56.6%
営業利益	1,150	1,439	125.2%
経常利益	1,150	1,449	126.0%
当期／四半期純利益	900	1,116	124.1%

通期予想の留意点

- ✓ インフルエンザ等感染症の発生動向による影響
 - ・流通在庫増加による返品リスク(感染管理事業)

- ✓ 追加投資の可能性(利益推移を勘案して)
 - ・認知度向上を目的とする広告宣伝の追加実施
 - ・売上拡大に向けた販売促進策の強化
(感染管理/医薬品事業)
 - ・本社移転に伴う追加コストの発生



期初の通期予想については、上記のような不確定要素があるため現時点においては修正しておりません



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。